

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	パイルキャップ構造設計法検討小委員会		主 査 名：塩原 等 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：平石久廣
設 置 期 間	2007 年 4 月 ~ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>鉄筋コンクリート基礎構造の耐震設計法を「鉄筋コンクリート基礎構造部材の耐震設計指針・同解説」の形でまとめることを目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2007 年度：既往文献の収集及び検討 ・ 2008 年度：課題の抽出と検討 ・ 2009 年度：基礎構造部材における応力伝達機構と設計法の検討 ・ 2010 年度：基礎構造部材の構造設計法の提案・最終報告書の作成 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：若干名		
	R C 造や基礎構造に関する研究者及び構造設計者を中心に、意欲のある若手研究者、実務者を中心に委員会を構成する。		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>パイルキャップ性能評価 WG：応答値と限界値の比較による基礎構造の耐震性能の判定方法を検討する。</p> <p>パイルキャップ保証設計 WG：基礎構造の保証設計法を検討する。</p>		
2008 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://seismic.t.u-tokyo.ac.jp/users/RC2008-002/	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	2007 年度に作成した、最終報告書の目次案に基づいて作業分担方針を定め、2 つの WG を発足させ、具体的な作業を始めた。進捗状況は予定どおりである。
委員会活動の問題点・課題	特になし